

整理番号	7 - 3	事務事業名	避難場所標識設置事業		作成部署	総務部防災・防衛担当	電話	内線652
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	西野隆夫	課長職名	内山浩一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	北広島市地域防災計画					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平時に一時避難場所、収容避難所となる施設(公共施設)を広く市民に周知してもらうとともに、災害時には、市民を安全な施設に適切・確実に誘導することを目的とする。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	防災と消防	(第7節)
	施策	総合的な防災体制の充実	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	一時避難場所及び収容避難所の標識	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	平時に一時避難場所、収容避難所となる施設(公共施設)を広く市民に周知してもらうとともに、災害時には、市民を安全な施設に適切・確実に誘導することを目的とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	一時避難場所・・・117箇所のうち41箇所標識を設置(76箇所未設置) 収容避難所・・・33箇所のうち30箇所標識を設置(3箇所未設置)
		17年度	未設置の収容避難所のうち、東記念館、すずらん保育園、稲穂保育園の3箇所に設置する。 東部中、広葉中の標識の張替

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	92	98	172	172
	合計	92	98	172	172
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		182	188	262	262

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	避難場所標識設置数	3	3	3	3
	設置済み累計数	(66)	69	72	75
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	避難場所標識設置達成率	44%	46%	48%	50%
	(設置済数 / 避難場所総数150箇所)				
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	標識1基当たり設置コスト(千円)	61	62	87	87
	(総事業費 ÷ 設置数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	近年の自然環境は、異常気象や地震多発など災害を引き起こす要因が非常に大きくなってきている。そのため万が一の災害に対する備えが今まで以上に重要であり、被害を最小限に抑えるためにも、自治体として必要なことを確実に行って行かなければならない。他市町村の状況は不明であるが、殆どの市町村において避難所の標識は設置していると思われる。江別市のように避難所標識のみでなく、避難所への誘導標識を設置している自治体もある。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の生命を守ることは行政の責務である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	避難所への誘導・周知は、市民の生命を守る上からも重要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	避難所の市民への周知は、HP、広報などでも行っているが、標識設置は特に有効な手段である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	災害から市民の生命、財産等を守ることが行政の責務であり、受益者負担の余地はない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	避難所の周知は、標識の設置のほか、HP、広報など機会があるごとに行っており、一定の成果が上がっている。	約50%が設置していないことから、早期に全施設に設置されることが望ましい。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	標識の設置については、まとめて実施した方が効率的と思われる。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	一時避難場所や収容避難場所は、災害時に必要な施設であり、その場所を誰からも判るよう表示することは重要であり、早急に整備していく必要があることから、拡大して実施していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり